

THE HEROES

注目ライダー直前インタビュー

YAMAHA FACTORY RACING TEAM IA1 #2 富田俊樹選手

「チャンプの走り見せます 2つ勝って締めくくる!!」



チャンピオン決定おめでとうございます!! 開幕戦九州大会からここまで表彰台を逃したのが1ヒートのみ。圧倒的な強さを誇ったシーズンでした。その強さの秘訣は?

自分の走りに自信が持てたこと...ですかね。ただ前回の関東は緊張したし不安で一杯でした。ポイント差を考えた余裕がなくて言われて自分でもそう思っていたんですが、前の週に40度近い熱が出て、これはおそろしく...ってすごく焦りました。結果コロナでもインフルエンザでもなくて季節の風邪だったんですが、4日間寝込んでしまって事前テストにも参加できなかったんです。実は大ピンチだった!?

そうなんです。第2戦の関東もヒート1でいきなり転倒してうわヤバイってなったけど、今回も一体どうなるんだろうって。家族に移せないから奥さんと子供は実家に帰ってもらって、部屋で一人寝てました(笑)。コースの情報は監督が連絡してくれて、現場では祐介やジェイからもアドバイスをもらえたんですが、体力の面でも30分走り切れるかどうか不安があったし...

しかも予選では能塚選手と絡んで転倒!? 予選の後謝りに来てくれたけど、あれで決勝のスタートは厳しいなと思いましたね。元々抜き難いコースだし、レイアウトが大きく変わったコースで十分な乗り込みが出来てなかったし。でもかなり攻めてましたよね?

ヒート1でしっかりと追い上げが出来たので、これならやれるなって実感できて、ヒート2は正直勝って決めたかったです。実際祐介との差を詰めたんですが、間に周回遅れの小方選手が入って、ホコリを被る場所もあったし、チャンピオンがかかったレースでちょっとリスクが大き過ぎるなって後半は引いてしまいました。だからタイトルが決まったらとどろき出したのと、走りが高くなって攻めきれなかったことの悔しさと、半分ずつ感じてました。九州でトリプルヒートを完勝して、勢いがあっただけに?

その前の近畿でも(下田)丈には負けただけで全力で攻め切ったし、九州のトリプルは逃げる大城君を追い上げて逆転、スタートから逃げ切り、渡辺と競り合って勝ってとどのパターンでも行けるって確認できた。それだけに前回の決め方は納得行かなくて...でもタイトルが決まって気持ち的には...?

全然切れてないです。前回出来なかった分もチャンピオンらしい走り最後締めくくりたいって気持ち強いんです。SUGOはヤマハのコースだし、祐介とワンツー。もちろんボクが1-1、祐介が2-2ですけど、ジェイと3人でしっかりと勝ってシーズンオフを迎えるつもりです。

結婚してお子さんが誕生してチャンピオン決めて...盛りだくさんなシーズンになりましたね。お祝いのパーティーはあったの!? 終わってすぐに家に帰って、火曜日からSUGOの事前だったし、まだ何も(笑)。新婚旅行も行っていないし、レースウィークとかは特に子育ても一人でやってもらって、奥さんには苦勞かけっ放しだったので、ちょっとのんびりしたいなって思ってますけど。新チャンピオンの走り、ファンはどこで見ればいいですか!?

SUGOはどこも見応えがあると思うんですが、応援してもらえたらビッグジャンプのエリアですかね。コーナーはラインに集中しちゃってあまり見れてないんです。その分ジャンプはリラックできるポイントなんで、ヨーロッパアンカーへの行き帰りは応援のフラッグが良く見えています。100%のパフォーマンスで走ります。今シーズン最後のレースを楽しんでください!!

コロナ渦を乗り越えよう! レースの元気を東北から!!

「夜のドックはスープ炊かぬえとヤベエぞ!!」...と地元チームから連絡が入った晩秋の SUGO。検温やマスク着用をお願いがあったりで何かと大変だとは思いますが、日が落ちると一気に冷えますから、お客さんも風邪など引きませんようくれぐれもご注意ください。

そんな中、全国から集結して熱いバトルを繰り広げてくれるライダーたち。遥々九州や、ここよもっと寒い北海道から遠征して来たライダーもいます。また今回は、常夏の国タイや、南半球から参戦してくれたライダーも。ポケットに手を入れたくなる気持ちはわかりますが、レース中は大きく手を振って盛り上げて下さいね。

もちろん地元東北勢には一際熱い応援をお願いします。今大会注目の地元元力といえば、ここ SUGO をホームに育った渡辺祐介選手(4/ ヤマハ)が福島県相馬市出身で現在は多賀城市在住。青森県弘前市からはリックーこと平山力選手(15/ カワサキ)がエントリーしています。伊藤翔太選手(28/ カワサキ)は岩手県花巻市在住で東北選手権チャンピオンを経て IA 昇格を果たしたライダー。白石翔也選手(35/ ヤマハ)は北海道出身になっていますが、もう何年も仙台を拠点にレース活動を続けています。

IA2 クラスでは、19 年雨の SUGO で勝利した鳥谷部晃太選手(4/ ヤマハ)が青森県七戸市出身で現在は仙台在住。前回関東大会では予選スタート直後のマルチクラッシュに巻き込まれ悔しい思いをした西條悠人選手(7/ カワサキ)は石巻市、佐々木麗選手(22/ ヤマハ)は黒川郡在住。さらにプログラムでは埼玉出身になっていますが小笠原大貴選手(33/ ヤマハ)も出身は宮城で3歳の時にここ SUGO でライセンスを取得したとのこと。今シーズン表彰台に3度登壇、ランキング7番手に付ける横澤拓夢選手(36/ ホンダ)は岩手県紫波郡、渡辺陵選手(45/ ヤマハ)は福島県相馬市在住。阿部晴基選手(47/ ヤマハ)は宮城県丸森町。佐藤沙武選手(55/ カワサキ)は青森県黒石市。ルーキー伊藤晃選手(03/ ヤマハ)は福島県船引町在住のライダー。

IB Open、LMX、ジュニア、チャイルドクラスにも地元のライダーが大勢エントリーしています。コースサイドから熱い応援をぜひお願いします。

MFJGP D.I.D JMX Round7 SUGO 2022年のファイナルレース! LMXクラスはチャンピオン決定戦!!

VOICE CONTROL レース直前、注目ライダーからの一言メッセージ

第1戦 HSR九州大会 4月9-10日 熊本県・HSR九州オフロドコース 天候:晴れ IA1は富田が先行した能塚を捉え開幕パーフェクトVを達成。渡辺が2-4位で総合2位。地元の影響はヒート1の転倒が響き小方に続く総合4位。

15分+1周x3のトリプルヒート制で行われたIA2クラスは、J.ウィルソンが格の違ひを見せつけ開幕パーフェクトV。3ヒートとも2位は小川、中島が3位。

第2戦 関東大会 5月14-15日 埼玉県・オフロドヴィレッジ 天候:曇り トリプルヒート制で行われたIA1は、星野優汰、富田、能塚が優勝を分け合い2-2-1位の能塚が総合V。

IA2クラスは鴨田、鈴村が先行するもJ.ウィルソンが一気にトップを捉え、鮮やかな逆転で5連勝を達成した。

第3戦 SUGO大会 7月16-17日 宮城県・スポーツランドSUGO 天候:曇り 雨の影響でIA1のトリプルヒートは5分縮の2ヒート制に変更。IA1H1は富田が渡辺の追撃を振り切り今季4勝目をマーク。H2はホールショットを決めた大城が富田、能塚の追撃を振り切ってクラス初&総合優勝を達成した。

IA2はJ.ウィルソンがH1はホールショットから独走で、H2は先行した鳥谷部、真野をバシ7連勝。

第4戦 近畿大会 9月10-11日 奈良県・名阪スポーツランド 天候:晴れ アメリカで大活躍中の下田 丈がスポット参戦したIA1は、下田が450初レースで日本のトップライダーを圧倒。果敢に挑んだ富田が2-2位で総合2位。

IA2はJ.ウィルソンがH1は序盤からトップに立ち、H2はスタートでの出遅れを一気に挽回して9連勝をマークした。

第5戦 HSR九州大会 10月8-9日 熊本県・HSR九州オフロドコース 天候:晴れ IA1はスタートから会心のレースを見せた富田がトリプルヒートで初のパーフェクトVを達成。

IA2はJ.ウィルソンがこちらもライバルを圧倒して連勝記録を11に伸ばし、早々と全日本タイトルを手中に収めた。

第6戦 関東大会 5月14-15日 埼玉県・オフロドヴィレッジ 天候:晴れ IA1は大城と渡辺が優勝を分け合い大城が今季2度目の総合V。注目のタイトル争いは、H2スタート直後のマルチクラッシュで能塚がリタイアとなった一方、3-2位と手堅くまとめた富田がクラス初タイトルに輝いた。

IA2トリプルヒートは、J.ウィルソンがスタートからライバルを圧倒して開幕から無敗の連勝記録を14に伸ばした。



IA1クラス STATS (リザルト&ポイントランキング)

Table with 10 columns: 順位 No., ライダー マシン, Rd.1九州, Rd.2関東, Rd.3SUGO, Rd.4近畿, Rd.5九州, Rd.6関東, Total

IA2クラス STATS (リザルト&ポイントランキング)

Table with 10 columns: 順位 No., ライダー マシン, Rd.1九州, Rd.2関東, Rd.3SUGO, Rd.4近畿, Rd.5九州, Rd.6関東, Total

IB Open Ranking

Table with 10 columns: 順位, ライダー, ポイント

LMX Ranking

Table with 10 columns: 順位, ライダー, ポイント

from DIRT to DIRT (泥んこ取材記)「タイライダーの挑戦!!」 右の写真は前回関東大会のキッズ 65 クラスにスポット参戦したタイのアランチャイ・ブライオングット君 12 歳。好スタートを決めたアランチャイ君は、後続の追撃を振り切って2位でフィニッシュし、表彰台登壇の快挙を達成しました。今回IA2クラスには第5戦九州大会に続いてタイSXチャンピオンのキサダ選手が参戦。どんな活躍を見せてくれるか注目してください。

確かな技術と真心を込めた信頼の整備で あなたのバイクライフをサポートします。 YOSHOP黒松

花巻レーシング 祝 全日本モトクロス開催 寒いけど頑張っ楽しもう!! 花巻オート

レースバイク 街乗りオートバイ 買取します。 HIRO RACING

実績が証明する かわす性能の大切さ かわす性能

IRIDING SPOT PERFORMANCE PRODUCTS モータースポーツからツーリングまで バイクライフをサポートする (有)ライディングスポット

MOTOPARK MORA OFFROAD HEAVEN JAPAN 福島県東部川部郡鷲川村

木工房 大空 FB.daimoku2015